

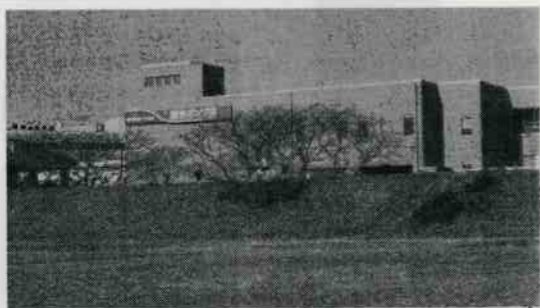
六郷特別出張所管内	
人口	男31,668名
	女29,887名
	計61,555名
世帯数	27,664世帯
平成13年2月1日現在	

六郷わがまち

発行 わがまち大田
 六郷地区推進委員会
 編集 「六郷わがまち」編集委員会
 事務局 大田区六郷特別出張所
 〒144-0055
 大田区仲六郷2-42-2
 電話 03(3732)4885(代)



⑥六郷土手の桜並木
 昭和31年(1956)京浜急行が苗木1,000本を大田区に寄贈。現在、西六郷二丁目～水門付近に70本健在。



⑦建設中の雑色ポンプ場



⑧六郷のどんど焼き
 毎年1月7日午後1時30分点火。
 主催・六郷の昔を語る会。
 後援・大田区教育委員会。



⑩ヒメイトトンボ



⑨ウラギクの花(キク科)

歩く 見る 学ぶ

—武蔵野の路 No.1 六郷コースのポイント—



『地図でみる大田区』(2)を見ると、戦後にできはじめた中州は、ここ半世紀の間に驚くほど大きくなり、六郷水門の方まで伸び続けている。中州のヨシハラは川の水質浄化に役立ち、干潟は野鳥の宝庫となっている。六郷橋下からヨシハラにそって多摩川岸辺散策路ができているが、この付近では全国的にも貴重なヒメイトトンボが発見されている。秋には川岸のヨシの根元にウラギク(絶滅危惧種)の薄紫の花が咲く。ウラギクの群生地は今やこの水辺のみという。中州には珍しいフトイ(カヤツリグサ科)も見られる。



①六郷水門
 大正中期からの耕地整理により都市排水路に転換した六郷用水の吐け口として、昭和6年3月に竣工。総工費70,000円のうち国庫補助30,000円、残りは地元が負担した。運河の橋の欄干にあるのは、当時の六郷町の町章である。



②六郷ポンプ場(昭和48年6月竣工)の排水口



⑤六郷橋水防
 水質自動観測所
 橋にほど近い川の中に設置されている。



④中州のヨシハラ。写真右下はフトイの群落



③秆標堤防の上に1000mおきに建つ



⑮明治 43 年 (1910) 8 月の大洪水で決壊した天王木堤防 (西六郷一丁目) の復旧作業

⑯亀の甲という水制
古川薬師から上手の川岸にある水勢緩和のための工作物。30m~40m おきに 4 本、大潮のときに姿を現わす。現在、西六郷一丁目~三丁目の堤防では、補強工事が行われている。



⑰安養寺 薬師堂は毎月 8 日の 10 時~15 時まで開扉。都重文の阿弥陀・薬師・釈迦の三如来像が拝観できる。



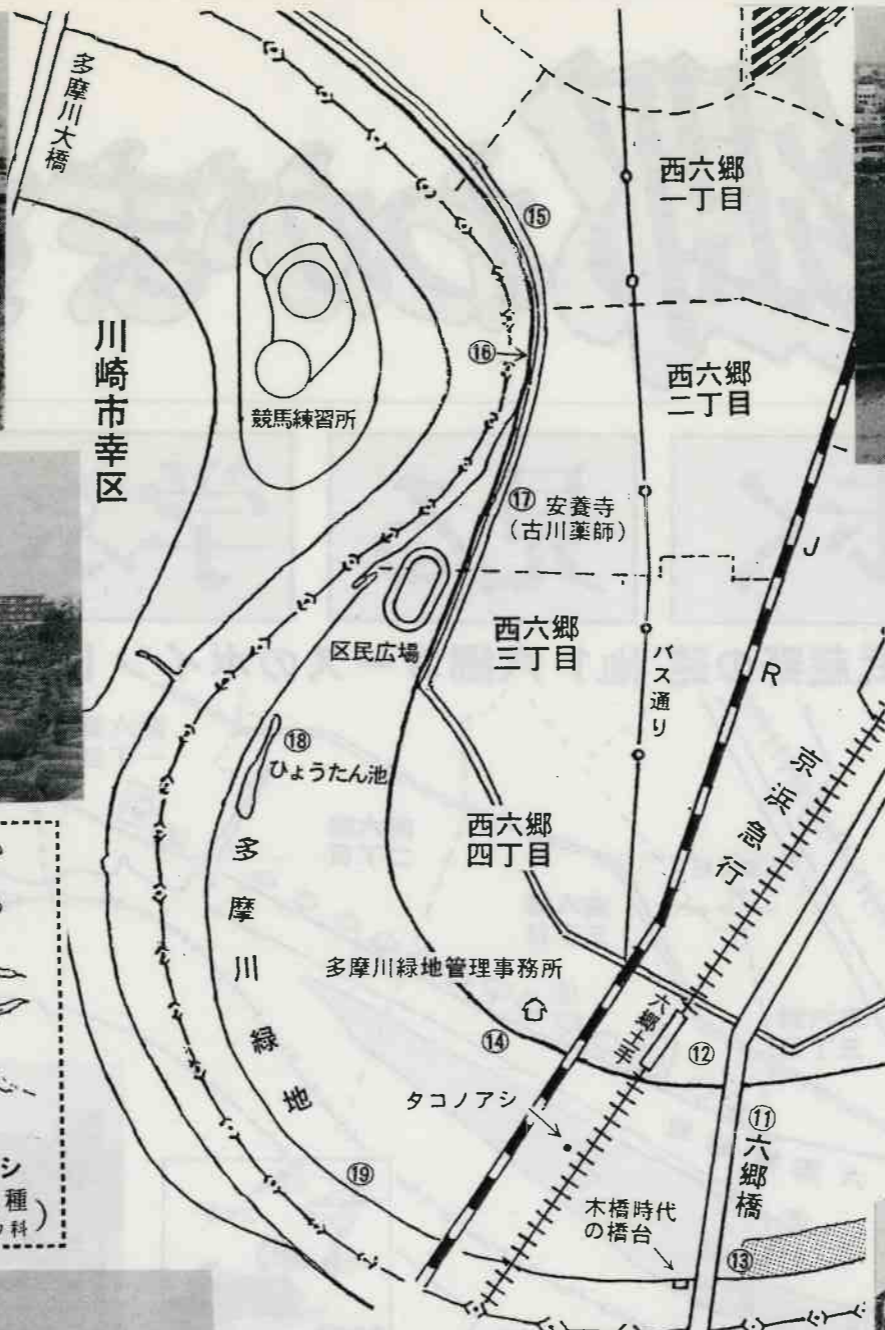
タコノアシ
絶滅危惧種
(ベンケイソウ科)



⑲六郷川水泳場 水練場とも呼ばれ、水のきれいだった昭和初年までにぎわった。



⑱ひょうたん池
釣りファンの多いこの池では、フナ・コイ・ボラ・ハゼ・テナガエビなどがよく釣れる。



⑭緑地管理事務所前の距離標 (6.6K)

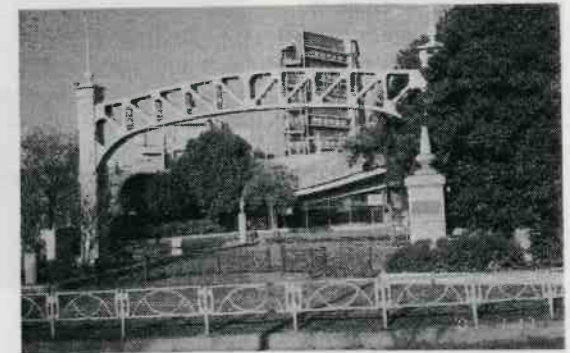
堤防上に見かける 200m 毎の距離標は、羽田・東急ホテルから約 700m 下流の防潮堤の上に埋め込まれた、図のような直径 10cm ほどの金属標を基点としている。



⑩六郷橋
上り車線が開通した昭和 59 年 8 月 1 日、大田区広報課撮影。橋に近い川岸には木橋時代の橋台の石垣が残っている。美しい 2 連のアーチをもつ旧六郷橋の跡に、下り車線が完成したのは平成 9 年 11 月 15 日である。



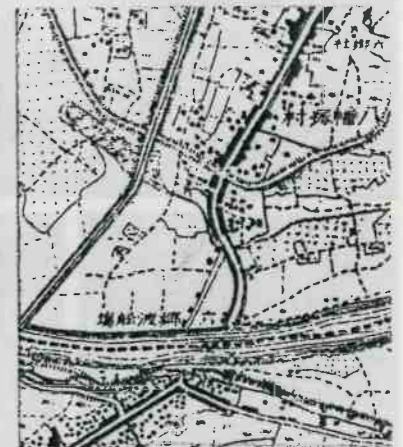
宮本台緑地には「六郷から丸子へ、渡し場をめぐる歴史の散歩道」「多摩川下流域の魚類」「六郷橋のおいたち」という写真入りの詳しい案内板 3 枚もある。



⑫宮本台緑地にある旧六郷橋の橋門と親柱



⑬六郷の渡しはどこにあったか
広重の浮世絵にも描かれた渡船場は、右の地図の川へ向かう細い道の先に、今も残る木橋時代の橋台から 150m ほど下流にあった。すなわち右側の太い道が旧東海道である。



明治 14 年 (1881) 発行 1/20,000 (部分)